

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
S.I.C.KIDS豊田校		2025年8月31日				45		35	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	0	0	0	・とても広いスペースで運動できるのでありがたいです。		お子様に合わせて教具の配置を変更し、支援を行っております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	2	0	1	・うちは動き回るので職員の方が疲れてしまっていないか心配です。 ・他との違いがよくわからない。 ・1対1でやってくれているので安心です。		職員の配置は適切に行われております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	0	0	3			今後もお子様が支援に集中できるような環境整備に努めていければと考えております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	34	0	0	1			今後も心地よくご利用いただけるよう掃除、整理整頓、環境整備に努めてまいります。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	0	0	1			トレーニング後のフィードバックなどを通し、より詳細に支援の内容やその効果をお伝えしてまいります。子育てサポート加算などをご提案させていただき、支援の様子を実際にご説明、ご相談させていただければと思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1	0	2			適宜、支援プログラムの確認を行い、今後も支援を行っていきたいと思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0			モニタリングや支援の様子を踏まえ、ニーズや課題を客観的に分析し、支援計画を立ててまいります。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	2			今後もお子様の成長をとみに感じられるよう支援してまいります。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	2			支援会議を経て作成された、個別支援計画をもとにプログラムを立てております。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	4	0	2	・反復することで安心するため、同じこともしていることがあるが、子どもの意見を取り入れながらしてくれていて助かっています。		今後も、これまでの支援の様子を参考にご利用毎にプログラムを立てていき、支援終了後にはフィードバックをさせていただきます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	16	11			本部主催のファミフェスをご案内させていただきます。	
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	0			今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	1			保護者様へ支援開始前に個別支援計画を説明し、同意を得ております。今後も丁寧な説明を行ってまいります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	0	0	1	・コミュニティ会はとても勉強になりました。		今後も保護者セミナーや座談会等を通し、家族支援プログラムを行ってまいります。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	34	1	0	0	・時々しか利用できていないのでなかなか伝え忘れてしまいます。		今後も課題に対する取り組み状況等、フィードバックし、共通理解をしていくよう心掛けてまいります。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2	0	3			定期的な面談時以外でも育児に対する助言や支援が行えるようお声掛けをしたり、ご希望に対して迅速に対応してまいります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	0	0	1			今後も保護者様のニーズを丁寧に確認しながら、日頃の支援に活かしていきたいと思っています。	

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4	4	10	・イベントなどを開催していただいてもなかなか参加することが難しい。	今後も相談があった際には迅速に対応してまいります。また、日程についてもアンケートなどで適切な設定をさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1	0	4	・利用したことがないからわからない。	相談があった際には迅速に対応してまいります。また、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていければと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	0	・アプリでトレーニングの内容、様子を伝えていただき、分かりやすくして良いです。	今後もそれぞれにあった伝達方法を行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	0	0	5	・トレーニングの様子が写真で見れるといい。 ・見ていないので分からない。 ・LINEでスタッフさんと連絡をやりとりできて便利で助かります。	公式LINE、アプリケーション、SNS等を活用し、今まで以上に情報を発信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	2	0	0	・一度書類の名前が他の方の名前だったので、確認をしっかりと願います。 ・見ていないので分からない。	より一層個人情報の取り扱い、ダブルチェックなど、注意・確認を徹底してまいります。プライバシーマークを取得し、プライバシーマークの規程に則って取り扱いを行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	0	12		改めて各種マニュアルの紹介や周知を行っていききたいと思います。訓練については、法令に則り、適切に実施してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	5	0	19	・地震の避難訓練を子どもと一緒にさせていただけるといいなと思います。	法令に則り、適切に実施してまいります。今後、地震や火災を想定した訓練を行って行ければと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	1	0	4	・基本的には何でもやらせてもらえるが、危険な事に関してはしっかりダメなことを伝えてもらえる。	引き続き、毎トレーニング前に教具の損傷などがないか等を確認し、安全な環境で支援を行っていただければと思います。また、お子様の求めている刺激や行動を尊重しつつ、安全にトレーニングできるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1	0	7	・経験なし。	引き続き、事故等が発生した際は迅速に対応させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	0	・家ではコーチの名前を話したりしてコーチをととても信頼しています。 ・どのコーチが担当でも、イヤな気持ちにならず過ごせているようです。	今後も安心を感じてもらえるよう精進してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	0	0	0	・毎週楽しみにしています。 ・毎週楽しみにしています。通所の日は「今日は何時にSIC?」と聞いてくる程です。 ・毎回とても楽しみにしています。入所して良かったです。 ・とても楽しみにしております。	今後も通所いただいている皆様に満足感を得ていただけるよう精進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1	0	0	・細かい点にも配慮していただきありがとうございます。 ・ご丁寧で親切です。 ・とても満足しています。 ・これからもよろしく願っています。 ・要望を取り入れてくださり、とても感謝しています。	今後も通所いただいている皆様に満足感を得ていただけるよう精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		S.I.C.KIDS豊田校		公表日		2025/8/31
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースを確保し、トレーニングを行っております。	お子様同士がぶつからないよう環境設定について配慮しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置しております。	保育士、児童指導員を適切に配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様の特性に合わせ、構造化しております。	施設内に一部段差がありバリアフリー化されていない箇所はありますが、視覚的なアプローチや環境上の配慮を可能な限り行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除、消毒、空気清浄機の常時稼働を行っております。	お子様が支援に集中できるような空間づくりを心掛けております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		トレーニングルームは扉で空間を完全に分けられるような作りになっており、お子様の状況に合わせ個別の環境を設定出来ます。	お子様の状況に合わせ、利用できる場所を活用していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングや職員会議を通し、職員全体でよりよい療育の向上を図っております。	日々の療育を振り返り、改善に繋がるようミーティングを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		集計を取り、事業所内での情報共有、今後の支援等をよりよいものにしてまいります。	結果をもとに業務の改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見等を積極的に聞き、職員参画のもと業務改善を行っております。また、本部職員との1on1ミーティングも実施しております。	今後も引き続き体制を整えていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は行っておりません。	第三者評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修や外部研修に参加しております。	出来る限り参加できるよう今後も取り組んでまいります。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは作成され、ホームページに掲載しております。	今後も適切に行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切な流れで支援計画を作成しております。	今後も適切に行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員参加での支援会議を行い、支援計画を作成しております。	今後も職員参画のもと検討を行っていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		トレーニング毎に支援計画を確認するような仕組みを作っております。	今後も適切に行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日常チェックリスト、アセスメントシートなど標準化されたツールや、日々の行動観察を適宜行っています。	今後も常にお子様及びその保護者様の立場に立って、効果的な支援を行えるよう心掛けていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子様一人ひとりの発達や課題に合わせ、ガイドラインの内容に則り、支援計画を作成しております。	支援会議を適切に行い、全職員参画のもと、様々な視点から意見を出し合い支援計画を作成しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援会議を開催し支援計画を作成、それをもとにプログラムの立案を行っております。	様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるようにプログラムを考えてまいります。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムを作成する際に過去のトレーニングの内容を確認し、作成しております。	今後もお子様の現状に合わせたプログラム作成を行ってまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様が必要としている力をつける為、支援計画を作成しております。	集団活動にスムーズに参加できるよう、個別で支援を行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼で確認を行っております。	朝礼終礼の他、メモを作成し、確認を行った後チェックを行い、情報共有に漏れないよう徹底しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日の終礼で振り返りを行っております。また、トレーニングの内容をアプリで記録し、当日出勤でない職員にも共有できるようにしております。	気付いた内容など記録に残しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援実施後、支援経過記録を記入記載し、終礼で共有しております。	ご利用者様ごとの個別ファイルおよびアプリ上にて保存し、支援の向上のため活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回以上のモニタリングを行っております。	必要に応じ、時期を早めて見直しを行っていくこともあります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		子どもが主体的に、また多種多様なトレーニングを行っております。	成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育むような関わりを意識しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		能動的に活動ができるようコーチングを意識した関わりを行っております。	入社後の研修などで支援の基礎を学ぶ機会があります。今後も研修の振り返りを行い、支援の質の向上を行っていければと思います。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		召集の都度、可能な限り出席しております。	児童発達支援管理責任者が出席しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関や各関係機関とやりとりを行い、連携体制を整えております。	今後必要に応じ、連携を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様の希望をもとに、連携を行い情報共有や相互理解を図っております。	保護者様の意向を汲みながら、今後必要に応じ実施していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様の希望をもとに、連携を行い情報共有や相互理解を図っております。	保護者様の意向を汲みながら、今後必要に応じ実施していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様の希望をもとに、連携を行い情報共有や相互理解を図っております。	保護者様の意向を汲みながら、今後必要に応じ実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修などの案内があれば積極的に参加し、連携を図っている。	今後も連携を密にし、支援の質の向上に努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		本部主催のファミフェスの実施を予定しております。	都度、ご利用者様にはご案内をしてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		召集の都度、可能な限り出席しております。	児童発達支援管理責任者が出席しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後、保護者様に支援内容をお伝えし、保護者様からはご自宅等での様子をお伺いしております。	伺った内容は職員間で共有しております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	アンケートを実施するなどし、保護者様のニーズを把握し、研修内容に活かしております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいております。	今後も丁寧に行っていくことを意識してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援開始前に支援内容を説明し、同意を得ています。	今後も分かりやすい説明を意識し行なってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者様へ支援開始前に支援内容を説明し、同意を得てから支援を行っております。	今後も分かりやすい説明を意識し行なってまいります。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際には迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	声を掛けやすい環境設定や雰囲気づくりに努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	交流が出来る環境設定を行ってまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際には迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	声を掛けやすい環境設定や雰囲気づくりに努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式LINEやSNSを活用し発信しております。	個人情報の保護に留意してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報となりうる書類、パソコンは鍵付き書庫に保管しております。パソコン等はパスワードやスクリーンセーバーを設定しております。	施錠や整理整頓を徹底しております。 また、プライバシーマークを取得し、プライバシーマークの規程に則って取り扱いを行っております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		構造化や分かりやすい表現を心掛けております。	それぞれの方に合わせた伝達方法を行ってまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	実績がございません。	現在は開催できておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者様の目が届く場所に保管しております。また、適宜周知、訓練を行っております。	玄関に常設するなど常に確認できる場所に配置しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に訓練を行っております。	定期的に職員間で内容確認を行っており、非常災害発生時に対応できるようにしております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様へ確認し、アセスメントシートの記載をしております。また、職員への周知を行っております。	薬の効用、予防接種等の基礎知識を身につけるよう研修しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様へ確認し、アセスメントシートの記載をしております。また、職員への周知を行っております。食事、おやつ提供は行っておりません。	必要に応じ、医師の指示書をいただくようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修、訓練を行ったうえで支援を行っております。	今後も適宜必要に応じ見直しを行ってまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画について、保護者様へ周知を図っております。	職員にも周知を行い、常に安全を意識し支援に取り組んでおります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有し、繰り返し発生しないよう日々の支援に反映させております。	職員間での共有を徹底しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に事業所内で研修を行っております。	研修実施記録を残しております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様に説明させていただいております。必要に応じて計画書に記載し、同意をいただいております。	身体拘束適正化のための指針に基づき行動しております。

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	S.I.C.KIDS豊田校		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 1日 ～ 2025年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年 6月 1日 ～ 2025年 6月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様と指導員1対1の個別療育を行っていること	障がい名に捉われず、幅広い視野と知識によって、発達生理学に基づいたチェックを行い、一人ひとりの得意不得意を分析し、その子に合った支援を行っている。 ここに最適な療育を行うことによって脳や心身の発達を促し、自立に向けての土台作りを行う。	日々の職員間の連携や保護者様との関係づくり、さらに利用者様の求めている動きや欲している感覚を今以上に敏感に察知し、ニーズを適切に把握することで、よりよい支援に繋げていく。
2	万遍なく専門的な支援を行っていること	感覚統合、原始反射の統合、ABA、TEACCH、SST、ビジョントレーニングで構成され、脳科学に基づいた運動療育プログラムを実施している。	年齢や環境の変化に応じ、利用者様に沿った支援や言葉掛けを意識する。 また、職員個々の支援スキルの向上を行い、より適切で利用者様、保護者様のニーズに応じた支援を行っていく。
3	研修制度やスーパーバイザーにいつでも意見が求められる環境が整っていること	入社後、2週間に及び基礎研修、実地研修を行う。	研修終了後も常に高い意識を持ち、職員一人ひとりが自己研鑽をしながら日々の支援に取り組む。 チーム内でPDCAサイクルを繰り返し、課題解決に向け向上心を持っていく。 また、スーパーバイザーへ意見を求めながら、よりよい支援が行えるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団的な支援の実施は難しい。	一人ひとりの可能性を引き出し、個性を活かす個別療育を期待されているため、集団的な支援や活動はニーズに合わない。	脳科学に基づいた独自のプログラムを行うことによって、神経発達を促し、言語発達、集中力の向上に繋げ、さらには人との距離感なども身に付け、集団で必要となるコミュニケーション能力も養っていく。
2	送迎サービスを行っていない。	1対1の個別療育を行い、保護者様への支援のフィードバックを行っていることにより送迎に必要な時間や人員が確保出来ない。	必要に応じ、自ら事業所へ通所できるように、保護者様との連携を通じて自立に繋げていく。
3	事業所間や学校などの関係機関との連携があまりできていない。	連携を望まれていない保護者様の気持ちに寄り添って支援を行っている。	保護者様との関係性も引き続き構築していき、事業所間や関係機関との連携の要望があった際には迅速に対応を行う。 また、当事業所を経たのち、次のステップにスムーズに進めるように必要に応じて他関係機関に情報を共有する。